



与論町

人口5,219人・面積20.58km²(令和3年1月1日現在)

- 【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～与論空港(1時間25分)、那覇空港～与論空港(35分)、奄美空港～与論空港(40分)、与論空港から車で5分
- 【船によるアクセス】 鹿児島新港～供利港(20時間)、那覇港～供利港(5時間)、供利港から車で10分

相談窓口

総務企画課

☎0997-97-3111 ✉kikaku@yoron.jp

🌐http://www.yoron.jp



見て、感じて、知る。ありのままの与論島。



鹿児島県の最南端、鹿児島県と沖縄県との県境にある与論島。与論町は、美しい自然を護り、独特の生活文化を育んできた一島一町の町です。与論島は琉球石灰岩の上に亜熱帯植物が茂り、真っ白なしぶきを浴びる珊瑚礁に囲まれ、山岳や河川のない平らな島です。平均気温 23 度と温暖な亜熱帯気候で、色鮮やかな花々が咲き乱れ、また島を囲む珊瑚礁の海は神秘に満ちあふれています。

このマチのアピールポイント！

百聞は一見にしかず。一度お越しください！
ありのままのヨロンを体験されるのが一番です！

アドバイス

与論島には9つの集落があり、集落や島全体のイベントが多く、地域の方々と交流する機会がたくさんあります。島内は自家用車があると便利です。住居の確保や交通の便、医療体制など不便な点もありますが、移住前にぜひ一度足を運び、与論島を体感してみてください。



毎年島内外からたくさんの方々が集うヨロンマラソン。

DATA

教育機関数

小学校:3、中学校:1、高校:1

医療機関数

病院:1、診療所:2、歯科診療所:2

主な公共施設

砂美地来館(町総合体育館)、B&Gプール(温水)、中央公民館(公民館教室)

主な産業

農業、漁業、畜産業、観光業、建設業

主な特産品

黒糖焼酎、ゆんぬあーどる焼、黒糖、貝細工、もずくそば、きび酢

主なイベント

- ・国指定重要無形民俗文化財「与論十五夜踊り」年3回(旧暦3月・8月・10月の15日)
- ・よろんサング祭り(8月中旬)
- ・ヨロンマラソン(3月上旬)

インターネット接続環境

光回線、ADSL(一部)、ISDN

おすすめライフスタイル



暮らしの情報

子育て環境

地域ぐるみの子育て環境があり、4つの認定こども園に待機児童はありません。島外出産助成や子育て支援金制度もあります。

医療環境

内科・外科・歯科・眼科があります。その他の診療科は月に2～4日程度の特別診療を受診しており、大きな手術は島外の医療機関にかかります。

買物環境

スーパーマーケット、ホームセンター、薬局、電気店などがあり、生活に必要なものは島内で調達できます。通信販売の利用も多いです。

交通環境

フェリーと飛行機は、鹿児島と沖縄から毎日運航しています。島内は循環バスとタクシーが運航しています。

移住者に対する主な受入対策

その他支援

役場において、町民から寄せられた住宅・求人情報についての提供を行っています。

定住促進住宅

移住者向けに、アパートを6部屋提供しています。入居者を募集する際はホームページ上で行います。

移住者の声

与論の方と結婚して2015年に移住しました。与論島は美しい海に囲まれた自然豊かな島で、晴れた夜は天の川まで見えます。与論独自の言語や風習が残っています。島での暮らしは“生きている”と実感でき、ご飯がより美味しく感じられるようになりました。『誠の島』と言われており、島んちゅの皆さんは優しく信頼できる方ばかりで安心して暮らしています。(埼玉県より移住)

